

こんな便利技を見つけた(その1)

JJ1SXA/池

ご存じの方はいらっしゃるでしょうが、私には新発見、私と同じく、知らなかったが、これは役立つという方もいらっしゃるのでは無いかと思い、私の備忘録を公開です、まだまだあります(その2)で続編を書く予定、乞うご期待&感想待ち!

▼最初は、エクスプローラの「詳細表示」の活用で、ドキュメント内にあるファイルをすぐに見つける方法だ、最近使ったファイルを探すなら、項目名の「更新日時」をクリックすれば降順になる、逆に古いファイルを探す時は、「更新日時」を2回クリックして昇順にすれば良い、特定の形式のファイルだけ表示させるには「種類」の右に表示されるボタンを押しリストからファイルの種類を選択だ。

▼Win11 になったら、右クリックメニューが簡略化され、「コピー」とか、「名前の変更」等を選択しようと思っても項目が無く、「その他のオプションを確認」をクリックすることで、すべての項目が一覧になるメニューを表示できるが、この2度手間を省略できるのが、「Shift キー」を押しながら右クリックだ、一発で、すべての項目が一覧になるメニューを表示できる。

▼アイコンのサイズ変更は、マウスホイールを使うと楽だ、通常は「表示」メニューの一覧からサイズを選ぶが、「Ctrl」キーを押しながらマウスのホイールボタンを回転させれば良い、「小アイコン」~「特大アイコン」まで順に変更できる、「デスクトップ画面」でも「エクスプローラ」でも変更できる。

▼対象ファイルのサイズやファイル形式の確認に使う「プロパティ」画面の開き方だが、右クリックメニューの「プロパティ」を選んで開くのが一般的だが、「Alt」キーを押しながらダブルクリックするとスマートに開ける。

▼デスクトップにある大量ファイルの中から頭文字のキーを押して即発見する「頭文字ジャンプ」がFB、デスクトップ画面の何も無い所をクリックして、名前の頭文字のキーを押すと該当するファイルやアプリが選ばれるという仕組みだ、同じ頭文字が複数ある場合はキーを押す毎に選択が切り替わる、日本語名のファイルを探すことも可能、先頭数文字を入力し変換すれば OK だ。

▼これは便利「近距離共有」、USB メモリーを使わずに近くのパソコンに無線でファイル送信ができる、転送方法は、転送したいファイルを右クリック、「共有」ボタンを押してパネルを開き、周囲にあるパソコンの名前が検出されたらそれをクリック、受け取る側は「…受信しています」と通知が出るので、「保存」ボタンを押して受け取る。

双方のパソコンで近距離共有の機能を有効にしておく必要がある、Win11 では、「設定」→「システム」→「近距離共有」と辿り、「近くにいるすべてのユーザー」を選ぶ、Win10 は「設定」→「システム」→「共有エクスペリエンス」と辿り「近距離共有」にあるスイッチをオンにして「近くにいるすべてのユーザー」を選ぶ。 (2024年8月記)